

令和 7 年 8 月 1 日
消 防 庁

令和 7 年度 救助技術の高度化等検討会の開催

地下閉鎖空間における救助技術の高度化を目的として、令和 7 年度救助技術の高度化等検討会を開催し、消防機関が地下閉鎖空間において、より安全かつ効率的に救助活動を実施するための検討を行っていくこととしましたのでお知らせします。

1 背景・目的

空間の一部または全部が閉鎖され出入りの手段が制限されている地下閉鎖空間においては、近年、道路陥没や地下工事に係る救助事案が発生しています。地下閉鎖空間における救助活動は、迅速な活動が求められる一方、空間的な制約や、崩落や有毒ガスが発生する可能性、被害が進行拡大する可能性もあることなどから、困難性を伴う活動となります。

そのため、地下埋設物や土壌の特性などの実態の把握や、こうした空間における救助活動の手法や、関係機関との効果的な連携などについて検討し、救助技術の高度化を図ろうとするものです。

2 検討事項

「地下閉鎖空間における救助技術の高度化」

- (1) 実態の把握、状況評価
- (2) 救助活動の手法、関係機関連携

3 スケジュール

令和 7 年 8 月 5 日（火）に第 1 回を開催し、以降順次開催する予定。

4 委員等

別紙のとおり



<連絡先>

消防庁国民保護・防災部参事官付
担当：大月補佐、田中係長、澤田事務官
TEL：03-5253-7507(直通)

令和7年度 救助技術の高度化等検討会 検討会名簿

(敬称略、五十音順)

【委員】

<有識者>

- ・岩田 美幸 一般社団法人 日本建設業連合会 常務執行役
- ・岡田 志麻 立命館大学 理工学部 ロボティクス学科 教授
- ・小川 文章 国土交通省 国土技術政策総合研究所 上下水道研究部 部長
- ・桑野 玲子 東京大学 生産技術研究所 人間・社会系部門 教授
- ・鈴木 健志 埼玉県危機管理防災部 埼玉版FEMA推進幹
- ・玉手 聡 独立行政法人 労働者健康安全機構
労働安全衛生総合研究所 労働災害調査分析センター 特任研究員
- ・細川 直史 東京理科大学 創域理工学研究科 国際火災科学専攻 教授
- ・吉田 悦教 千葉経済大学 経済学部 特任教授

<消防本部>

- ・石原 新一郎 名古屋市消防局 本部機動部隊長
- ・伊藤 学 大阪市消防局 警防課 副課長
- ・恒松 雄一郎 京都市消防局 警防部 警防課 消防救助担当課長
- ・中原 洋二 東京消防庁 警防部 救助課長

【事務局】

消防庁国民保護・防災部参事官付